

平成 29 年 10 月 13 日

箕輪町議会議長
木村 英雄 様

議会広報特別委員会
委員長 浦野 正雄



町村議会広報研修会への出席結果について（復命）

下記のとおりでしたので、報告します。

記

- 1 日 時
平成 29 年 9 月 29 日（金）午後 1 時から午後 5 時まで
- 2 場 所
東京都千代田区 シェーンバツハ・サポー
- 3 出席者
(1) 委員会 浦野正雄・松本五郎・大槻金吾・伊藤 隆・荻原省三議員
(2) 事務局 冨澤書記
- 4 参加町村議会
北海道から沖縄まで 214 町村議会
- 5 研修プログラム
(1) 「一議会広報紙の文章ー 『伝える広報』から『伝わる広報』へ」
講師 広報コンサルタント、文章の危機管理コンサルタント
株式会社 ことのは本舗 代表取締役 小田 順子 氏
ア 分かりやすく書くテクニック
(ア) 見やすい文章の作り方
①図表やイラストを入れる。②漢字を少なくする。
③改行、空白行を入れる
(イ) 読みやすい文章の書き方
一文 65 字以内で書く「文章は中学生にもわかるようにやさしく書け」
(ウ) わかりやすい文章の書き方
「構造化して結論を先に書く」
イ 伝わる文章の書き方
(ア) 読みたくなる文章の書き方
①ターゲットを具体的に描く ②ターゲットの言葉を使う
③「I メッセージ」ではなく「You メッセージ」で書く
④ゴールを示す。
(イ) 伝わる広報文の作成手順
聴く・読む→考える→書く よく聴いて（調べて）、よく考える
(2) 「議会広報 広報紙×電子広報 なにがどう変わってきたか！」
講師 エディター、広報アナリスト 吉村 潔 氏

議会だより 議員のみで制作 29.8%、議員+事務局 65.3%

ア 議案審議

- とりあげる案件を選ぶ ○議決に至るプロセスが見える
- 見出しを読めばポイントがつかめる
- 議案の内容、議員の意思表示がわかる

イ 予算・決算

- 行政広報と差別化した分析・評価で議会らしさを
- 経年推移、類似団体との比較など財政状況の見える化
- 決算と予算のサイクル化

ウ 委員会

- 議案審査も見出しがポイント ○視察報告は地元にかす意見を
- 調査研究を提言につなげる

エ 特集

- 定例会から ○広聴やイベントから ○議会活動から ○その他

オ 住民参加

- まず、インタビューから ○地域課題を共有する
- 主要事業などへの意見をひろう

(3) 「第31回議会広報コンクール トップ2 クリニック

優秀賞受賞紙から学ぶ」

講師 議会広報サポーター

(一社) 埼玉県コミュニケーションセンター理事長 芳野 政明 氏

時間の関係もあり、町村議会広報コンクール審査方針の話はほとんどせずに、受講者に配布してある優秀紙2点を見ながらクリニックを実施した。

ア 『議会だより かねがさき』

表紙4色・本文2色、全24ページ、議会広報常任委員会7人+議長
昨年に続き2位、12年間連続入賞、最優秀賞をはじめ、優秀・優良賞の常連。

[本誌の特徴]

- 住民の声をよく取り上げ、議会と住民との一体化の紙面に精励されている。
表紙「双子ちゃんシリーズ」「もし町長だったら」「もし教育長だったら」での小学生の登場等で議会との融合が図られている。
- 議会広報の基本的な役割である議事の公開度の水準が高い。質疑が良く整理され、住民の判断材料となっている。
- 一般質問は一人1ページで、フォーマットも完成度が高い。質問と答弁の内容を分かりやすく要約し、見出しも的確に付けられて読みやすい。
- 見出し・リード文・本文・囲み記事や欄外も含め、見開きごとに豊富な話題を提供している。
- 紙面全体を通して見出しや写真スペースを十分確保し、ホワイトスペース

(空き)も適切にとってのデザインレイアウトである。各ページは一見して「何がテーマか。」が瞬時に分かるようになっている。

○各ページに使われている写真にも住民がよく登場している。

以上、各紙面から編集スキルの高さがあり、住民の読読効果が期待できる。

イ 『りふ議会だより』 最優秀賞 (全国第1位)

6年連続トップテン入り、7年目の昨年最優秀賞受賞、38ページの大作
表紙4色・本文2色、全38ページ、議会広報常任委員会7人

基本フォーマット：本文14級程度(10ポ)、一段11字×34行×6段
丸ゴシック、20ページを基本

[本誌の特徴]

○多彩な議会活動、議事を丁寧に分かりやすく伝え、議事公開の水準が高い。

○議員個々の仕事ぶり、議員の顔が見える広報で親しみや信頼醸成に貢献、
広報の役割・目的に沿った編集である。

○「住民の声」「いきいき活動」での住民登場、「追跡レポート あの提言は
どうなっているの？」など3つの常設シリーズは議会法らしく高企画。

○各ページの企画意図が明確、リード文で趣旨がしっかり記されている。

○見出しや写真を大きくしてインパクトがある。フォントの用い方も適切で
文字情報も読みやすい。

○本文ページの2色の用い方も読者視線を誘導する配色、紙面表現はメリハリ
がある、ビジュアルなまとめになっている。

○親しみが持て、「読者にやさしい広報」になっている。

○余裕ある紙面づくりになっている。

文章40%、見出しと写真40%、余白20%。

6 感想

(1) 一昨年まで2日間で8時間だった研修を、受講者数の増加から1日間の4時間としたため、細部までは教えきれずに急ぎ足の研修であった。初心者には、2日間の日程にしてほしいと思う。

(2) 研修プログラム(1) 講師は区役所に15年ほど勤めた経験を有し、実務に精通していることもあり具体的事例を出したり、例文を示して出席者に書き換えをさせたりして解説を行い、具体的で分かりやすかった。

(3) プログラム(2) 一人で喋っている感があり、あまり共感が持てなかった。

(4) プログラム(3) クリニックは、過去に何回も受けており具体的で分りやすかったが、初心者もいるので基本も教えてほしかった。(時間がない)

(5) 優秀2誌の議会とも「議会広報常任委員会」になっており、委員数も多く(7人)、議会だよりに力を入れていることが見て取れた。